

科目名 Course Name	生活支援技術Ⅷ Independent Living Skill Ⅷ				ナンバリング No.	J4-003	
年次	2年	期別	後期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	和田晴美						
連絡先(質問等)	福祉棟 2F 研究室か、メールで対応。オフィスアワーは教員より説明する。						
必修/選択	選択(介護福祉士養成課程必修)						
関連 DP	DP2、DP4、DP5						
授業の概要と到達目標	<p>緊急時および人生の最終段階にある人のケアに対応する能力を養うための、基礎的知識・技術を習得する。また、この時期にある人および家族への理解を深め、その対応方法についても学ぶ。さらに、尊厳の保持やチームアプローチの必要性について理解することを目的とする。</p> <p>①急変状態にある人に対して、専門職の視点から観察し、適切な対応ができるようにする。 ②応急手当の実際を、私生活でも活用できるようにする。 ③危篤時から死に至るからだの変化がわかり、必要な支援方法を説明できるようにする。 ④人の死が家族に与える影響をふまえ、家族に対する支援を説明できるようにする。 ⑤自分自身の「死」を考え、最終段階にある対象への支援の在り方を考察できるようにする。</p>						
授業の方法	緊急時、人生の最終段階にある人への介護に関する、応急処置や心肺蘇生法、臨死期の介護等を講義・演習・ディスカッションを通して学ぶ。また、緊急時の対応の授業で、普通救命講習を開講(別時間、詳細は授業で説明する)し、講習終了時に修了証が授与される。						
学習成果	L01	急変時および人生の最終段階にある人および家族の心身状態を学び、尊厳を保持し、QOLを高めることに視点を置いた、適切な関わりを習得することができる。					
	L02	急変状態にある人の観察と人生の最終段階にある人への支援に対する心構えを学び、緊急時における応急処置と、終末期におけるケアを実践することができる。					
	L03						
	L04						
課題に対するフィードバック	この授業の課題は、自身の死生観を問うものであるため、答えはない。授業の中で、意見を集約し説明することでフィードバックしていく。						
教科書/参考図書	①新・介護福祉士養成講座 第6巻 生活支援技術Ⅰ 第7巻 生活支援技術Ⅱ 中央法規出版 ②応急手当講習テキスト 東京法令出版(普通救命講習会の際に配布)						
履修上の留意点やルール等	講義・演習・グループディスカッションともに積極的に参加し、学びを共有してほしい。やむを得ず欠席する場合は、必ずその部分の学習を補い、届け出は速やかに提出すること。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 45 分とする。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	以下の視点で評価する。授業の準備が整い、講義は集中していること。ディスカッションでは他者の意見を傾聴し、自ら積極的に発言して学びを深められること。	20			
レポート/作品	2つの課題レポートで評価する。評価基準Sは、課題の目的を理解し内容を深く捉えて洞察していること。期限を厳守すること。	20			
発表					
小テスト					
試験	文章の正誤を問う問題や記述問題、語群からの選択問題等である。		60		
その他					
合計		40	60		

回数		授業計画
1	授業内容	①ガイダンス(シラバスにそって) 普通救命講習について ②事例検討について 課題提示・まとめ方 ③佐野市における救急概要
	事前・事後学習	自分の住んでいる町の救急の概要を調べ、ノートに記載する。
2	授業内容	予想される事故とその予防 高齢者に多く見られる事故、緊急度の判断
	事前・事後学習	「家庭内で起こりやすい事故」を調べる。
3	授業内容	救急処置の実際① 適切な体位、創傷、熱傷
	事前・事後学習	創傷の種類と特徴をノートにまとめる。
4	授業内容	救急処置の実際② 骨折、呼吸困難、熱中症
	事前・事後学習	高齢者が骨折しやすい部位、熱中症の分類を調べ、ノートにまとめる。
5	授業内容	救急処置の実際③ 運搬法、包帯法 【演習:包帯法】
	事前・事後学習	包帯法の自己練習をしてくる。各方法3回以上。
6	授業内容	グループワーク発表、まとめ
	事前・事後学習	普通救命講習会に向け消防署の「応急手当 web 講習」を受け、修了証を印刷して提出する。
7	授業内容	緊急時の対応 佐野消防署 救急隊員による「普通救命講習」(別日程により実施)
	事前・事後学習	救急蘇生法の復習を行う。本学のモデルを使い、3回以上実施する。
8	授業内容	人生の最終段階における介護 「死」とは 現代の死の特徴と日本人の死生観
	事前・事後学習	自分が今までに感じた一番身近な「死」を思い出し、ノートに記載する。
9	授業内容	全人的痛み(トータルペイン)とその介護 ＜課題1「私が予後6か月といわれたら」提出は第10回＞
	事前・事後学習	課題1を考え、記載する。
10	授業内容	最終段階にある人への具体的な介護の方法 コミュニケーション、リラクゼーション 【演習 ハンドトリートメント】
	事前・事後学習	ハンドトリートメントの復習。実施手順を他者に3回実施する。
11	授業内容	危篤時のからだの変化と介護 看取り期の介護
	事前・事後学習	危篤時のからだの変化を整理して、ノートに記載する。
12	授業内容	家族への介護 悲嘆のプロセス、死の受容への援助 ＜課題2「最後の手紙」提出は第13回＞
	事前・事後学習	最終段階にある利用者を目の当たりにした家族の心について考え、どのような声掛けが適切かを考え、ノートにまとめる。
13	授業内容	エンゼルケアとは 視聴覚教材「死後のケア」の視聴
	事前・事後学習	死後のケアのポイントをノートに整理する。
14	授業内容	「エンゼルケア」デモンストレーション 【グループディスカッション】
	事前・事後学習	自分が亡くなったら、どのようなエンゼルケアを受けたいか考え、ノートに記載する。
15	授業内容	童話「100万回生きたねこ」から死と生を考える 【グループディスカッション】 授業のまとめと国家試験対策
	事前・事後学習	試験に向けた学習を行う。